


3-12 第12分科会「秋田の風土と文化を考える(方言・文学・民俗)」まとめ

担当 成田雅樹

分科会テーマ	秋田の風土と文化を考える(方言・文学・民俗)
担当者・メンバー	<p>担当者 成田雅樹</p> <p>メンバー(20名)</p> <p>Aグループ…面川拓巳、木元志帆子、小松貴大、高橋貴之、富樫菜子</p> <p>Bグループ…丹博子、早津みなみ、島田真紀子</p> <p>Cグループ…大友江梨子、渡部あすか</p> <p>Dグループ…高橋さやか、濱道彩加、保坂小春、本橋沙織、吉田安希</p> <p>Eグループ…松田洋</p> <p>Fグループ…伊藤真人</p> <p>Gグループ…泉学、袴田健太</p> <p>Hグループ…石井大資</p>
活動の概要	<p>グループごとにテーマを設定し、文献調査、インタビュー等の方法で調査活動をし、結果を絵本、カルタ、動画、スライド、印刷資料等にまとめた。今回はすべてのグループ・個人が方言を中心テーマにして活動した。</p>
活動のプロセス	<p>分科会のはじめ2回は、担当者から過去の受講生の活動成果(方言新聞、方言絵本、方言CM、方言劇、アニメ方言吹き替え、映画方言吹き替え、方言テキスト、方言県内観光案内パンフ等)の紹介があった。</p>  <p>その後は、各グループ・個人ごとに調査活動を始めた。その際、参考にするため、担当者が方言教育・方言研究・方言関係一般書・方言カルタ等の資料を毎回提示した。</p>

また、活動中は担当者が方言関係の情報（NHKの方言関係のシリー



ズ番組、方言辞典のパソコン用ソフトウェア) をスクリーンで提示した。

グループ・個人の活動は、必要に応じて分科会の教室以外で行ったが、毎回必ず教室にもどって授業を終了するようにした。

調査とまとめは年内に行い、年明け1月20日の分科会で各グループ・個人の成果発表会を行い、全体発表の担当グループ・個人を決定した。



